

失語症の人を『支援する方法』

について知りたい



失語症について知りたい方は表面へ



一般社団法人 **広島県言語聴覚士会**

【問い合わせ先】 失語症者向け意思疎通支援作業部会

【電話番号】 080-3895-7678

【問い合わせ時間】 月・水・金 9時～14時



(問い合わせ先)
メールアドレス

05

失語症者向け意思疎通支援者とは？

失語症者のコミュニケーションを支援します。失語症者が地域の一員として安心して自分らしい暮らしができるように支援を行います。

車椅子を使用する人に【スロープ】、聴覚障害のある人に【手話】があるように、失語症の方には【意思疎通を支援する人】=【失語症者向け意思疎通支援者】が必要です。



言葉は分からないことが多く、次会う時の宿題にしています。技術はまだですが、一緒に笑って一緒に楽しもうと思っています。

失語症の方から色々と話しかけてもらえたら本当に嬉しいです。

Q. 養成講座受講のきっかけは？

A. 失語症ってよくわからなかったけど、仕事で関わることもあり、研修を受講しました。



Q. 研修終了後の活動は？

A. 失語症の方は、最初会った時、泣いてばかりで閉じこもり気味でした。意思疎通支援者として関わり、今は失語症者の会やランチ、買い物、3年ぶりに映画にも一緒に行き、楽しみを作るよう支援しています。



04

失語症者向け意思疎通支援者になるには？

失語症者向け意思疎通支援者養成研修を修了し、登録されると支援者としての活動ができます。



【言語聴覚士】

Q. 受講対象者は？ 定員は？



A. 失語症者の福祉に理解と熱意を有し、失語症者の意思疎通支援に携わることができる18歳以上の方です。定員は30名です。

Q. 講座はいつ？



A. 土曜日・日曜日を中心に開講式から修了式まで9回、半年かけて行います。1回の講座は午前10時から16時までです。講義と実技をあわせて40時間の研修があります。

Q. 講座の内容は？

A.

- 失語症についての基本的な知識や失語症による困難さ、支援者としての倫理などを学びます。
- 実際の支援に必要な会話技術を学び、その後の実習でスキルを身につけていきます。
- 実技実習では、言語聴覚士が失語症者役になって支援技術を練習したり、失語症の方々にご協力を頂いて、会話の経験を積みます。
- 支援活動に必要な身体介助などについても学習します。



03

失語症の方の
困りごと



失語症者向け
意思疎通支援者の活動

困りごと① 病院でお医者さんの話がわからない



支援者の

【失語症のBさん】

【失語症のBさん】

支援内容



前もって失語症の人から伝えたいことを聞き取り、医師に伝えます。

困りごと② 駅で事故を知らせるアナウンスがわからない



支援者の

支援内容



話し言葉だけでなく、文字も書いて知らせます。



支援者になって●年。

【支援者の A さん】



脳梗塞で失語症に。

【失語症の B さん】



比較的失語症状は軽い。

【失語症の C さん】

困りごと③ 役所で手続きしたいのに説明がわからない



支援者の

支援内容



前もって失語症の人から目的を聞き取り、窓口の人に伝えます。

困りごと④ 講演会等の内容がわからない



支援者の

支援内容



講演会等の内容を理解し、わかりやすく書いて説明します。